令和5年度第2回刈谷市学校給食センター運営委員会 議事録

日 時：令和6年1月23日（火曜日）14時30分～14時50分

場 所：刈谷市役所 701会議室

出席者：学校給食センター運営委員会委員15名、教育長、教育部長、教育総務課長、
学校給食センター所長、所長代理、主事1名、栄養教諭1名

欠席者：衣浦東部保健所長、医師会代表、歯科医師会代表、富士松中学校長、住吉
小学校長、富士松南小学校長

※ただし、衣浦東部保健所は代理者出席

1. 教育長あいさつ

2. 議題

(1) 令和6年度 学校給食実施計画書（案）について

(2) 令和6年度 幼稚園給食実施計画書（案）について

上記の議題（1）と議題（2）は関連性が高いため一括協議とする。

(1) 令和6年度 学校給食実施計画書（案）について

<事務局からの説明>

1 栄養バランスのとれた安全な給食の提供について

学校給食摂取基準は、国が定めた学校給食実施基準にある学校給食摂取基準に合わせたものになる。特別支援学校は、障害の種類と程度、身体活動レベルも様々なので、この表を基準としつつ弾力的に運用する。

主食は週4回を米飯、水曜日にパンあるいは麺を実施する。

令和6年度の小・中学校の給食実施回数は189回。特別支援学校は187回を予定している。小学校と特別支援学校小学部の新1年生の開始は、1週間遅れての4月16日にスタートする予定である。

2 アレルギー対応給食、形態食について

小・中学校は今年度と同様に鶏卵と飲用牛乳の対応をする。

特別支援学校の形態食は、児童生徒個々の状況に応じて対応する。

3 食に関する指導について、4 衛生管理、5 給食に関する情報提供、6 学校、家庭との連携については今年度と同様に実施する予定である。

(2) 令和6年度 幼稚園給食実施計画書（案）について

<事務局からの説明>

1 栄養バランスのとれた安全な給食の提供について

小・中学校と同様に国が定めた「特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食実施基準」の幼稚部に該当するところに基づいて実施する。

摂取基準は、国の基準に合わせたものになる。

主食は、小・中学校と同様に実施する。

令和6年度の給食実施回数は193回を予定している。3歳児の開始は、1か月遅れての5月8日にスタートする予定である。

2 アレルギー対応給食について

今年度と同様に飲用牛乳の対応をする。

3 衛生管理と4 その他は、今年度と同様に実施する予定である。また、夏休み期間中も給食を提供する。

<一括協議>

各議題に対する質問・意見については無く、学校給食実施計画書（案）及び幼稚園給食実施計画書（案）は承認された。

<その他>

委員からの報告があった。

子ども達に給食について聞いたところ、学校で嫌なことがあり行きたくないとなっても献立表を見て好きな給食だと学校に行くとか、県外から転入してきたお母さんが「郷土料理がよく出るので、愛知の知らない料理を子ども達ができるのか、給食がおいしいという声がある。夏休みなど長い休みのときに給食のありがたさを痛感する。今後も子ども達はもちろん、保護者にもうれしい給食を続けて欲しい。

閉会